

## 始良市都市計画審議会 会議結果の公表

会議の名称	第5回 始良市都市計画審議会
開催日時	平成25年2月7日(木) 13時30分から14時15分まで
開催場所	始良市役所本館2階 大会議室
会議の出席者 (委員)	岩下委員、河東委員、法元委員、有馬委員、萩原委員、田ノ上委員、 竹下(敬)委員、湯川委員、川元委員(小蓬原委員代理)
議 題	始良市都市計画マスタープランについて
会議の公開又は非公開の別	公 開
傍聴者数	0人
議事の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・議案第1号 始良市都市計画マスタープランについて</li> <li>・審議結果 原案のとおり承認</li> <li>・審議内容</li> </ul> <p>【議 長】 ご苦労様でした。ただいまの説明に対して、ご意見・ご質問等はありませんか。</p> <p>【法元委員】 1番目にコーホート要因法という言葉があるが、簡単で良いので説明して欲しい。</p> <p>【議 長】 事務局お願いします。</p> <p>【事 務 局】 人口推計の一つの方法です。まず、「コーホート」とは「同一時期に出生した集団」を言います。コーホート要因法による推計は、ある基準年次の男女年齢別人口を出発点として、これに仮定された「女子の年齢別出生率」、「男女、年齢階級別生残率」及び「男女、年齢階級別人口移動率」を適用して将来人口を計算する方法です。具体の人口推計は、委託しているコンサルタントが行っています。</p> <p>【議 長】 よろしゅうございますか。</p> <p>【法元委員】 はい。</p> <p>【議 長】 他にございませんか。</p> <p>【法元委員】 今の1番に関連して、意見に対する考え方及び修正内容のところで、社会移動傾向の改善による増加人口を加えとあるが、具体的に説明をして欲しい。</p> <p>【事 務 局】 平成23年度にお出ししている資料を読み上げます。平成17年(2005年)から平成22年(2010年)の間の社会移動傾向が将来にわたって続くと仮定して推計したすう勢将来人口について、今後は居住環境の改善や都市の魅力向上、産業の振興などにより社会移動傾向を改善し、人口の流出の抑制・転入の増加を図るものとし、平成22年(2010年)から平成32年(2020年)までの間に約1,800人の上積み(約180人/年)を見込み</p>

ます。なお、この増加数は、平成12年～平成17年の増加数(240人/年)の75%にあたります。

【議長】 よろしゅうございますか。

【法元委員】 はい。

【議長】 他にございましたらどうぞ。何でも結構です。ご意見が無いようでございますが。

【田ノ上委員】 33頁の図の中で、龍門司坂とあるが、これは竜司坂ではないですか。

【議長】 両方使うのでは。

【法元委員】 竜の字は昔の県の指定の時はそうだったが、色々資料を見てこの方が正しいということになり、国の指定になった時この表記とした経緯がある。

【田ノ上委員】 分かりました。交通の拠点に、加治木港が抜けている。交通の拠点としては陸海空があり、空は空港だが、海は港。始良市は加治木港があり、文章と合わせて図の中に表示した方が良いと思う。

【議長】 事務局、お願いします。

【事務局】 今ご指摘があった33頁には、記載するようにいたします。港については44頁をお開きください。平成23年度の協議の中で出てきておりましたので、c 港の機能維持等として記載しています。平成19年度に臨港地区を指定しており、それも含めて記載してあります。

【議長】 地図に名称を入れたらどうかというご意見だったが、それについてはどうか。

【事務局】 33頁については、加治木港を記載します。加えて、45頁についても入れるようにします。

【議長】 都市構造図と交通体系整備方針図に、加治木港の名称を入れ込むということですか。

【事務局】 45頁の交通体系整備方針図には、重富漁港も入れた方が良く思うので、付け加えたい。

【議長】 他にご意見はございませんか。他に質問もないようですので、お諮りします。第1号議案 始良市都市計画マスタープランについて、原案のとおり決議させていただきたいと思いますが、ご異議ございませんか。

【一同】 異議なし。

【議長】 ご異議がないということでございますので、第1号議案 始良市都市計画マスタープランについては、原案のとおり決議させていただきます。ありがとうございます。なお、成案作成に際して、用字用語の細かな訂正については、事務局に一任させていただいてよろしゅうございますか。

【一同】 異議なし。

【議長】 これをもちまして、本日の議事はすべて終了でございます。